皇學館大学 CLL 活動を実施いただける皆様へ

令和８年度版

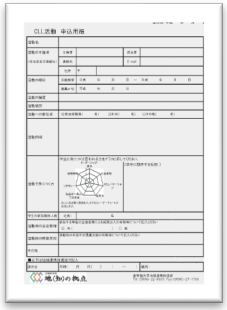
皇學館大学CLL活動について（学生・実施主体向け） 令和8年4月版

CLL（Community Learning Labo）活動とは？

皇學館大学生が地域の皆さんと一緒に伊勢志摩定住自立圏を中心とする三重県内の課題解決体験を通して、キャンパスでは学べないことを学ばせていただくプログラムです。

CLL活動報告会

活動申込書

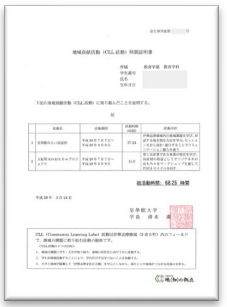


活動説明会

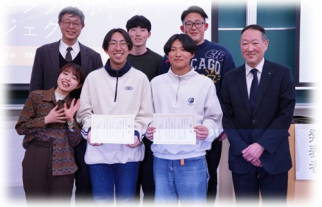
事前学修

活動記録票

地域貢献活動時間証明書



事前相談 → お申込 → 活動説明会 → 事前学修 → 活動 → 活動報告会 事後学修



活動報告会にて優秀PJの表彰

学びの支援体制

地域連携推進室 → **担当教員・地域課題学修支援室**

CLL活動の3つの目的

1. 地域の課題に学生・大学が取組、地域の活性化に向けてともに活動する。
2. 学生が地域活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
3. 大学と地域が協働して、伊勢志摩圏域を中心とする三重県内で、新たに人や地域がつながるしくみをつくる。

CLL活動とできる活動例

・取組の企画に学生のアイディアがほしい
・マンネリ気味の活動に新しい切り口がほしい
・地域の課題について多世代で話し合いたい等

CLL活動とできない活動例

・地域のまつり当日ボランティアがほしい
（単なる労働力、手、ではなく、そこに学びの効果があるものとさせていただいています。）

学生が養うことを期待する力

- 地域課題を学びしっかりと考える力
- 異世代コミュニケーション能力
- 解決策を考え、前に踏み出す力
- 企画・立案し、合議し、実施する力

ひとことでいうと「皇學館大学 CLL 活動」とは？

皇學館大学生が地域の皆さんと一緒に伊勢志摩圏域を中心とする三重県内の地域課題について体験を通して、キャンパスでは学べないことを学ばせていただくプログラムです。

（詳細は皇學館大学「「伊勢志摩定住自立圏共生学」教育プログラムによる人材育成」ご参照ください→

皇學館大学 CLL 活動の 3 つの目的

（１）地域の課題に学生・大学が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。

（２）学生が地域活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。

（３）大学と地域が協働して、伊勢志摩圏域を中心とする三重県内で、新たに人や地域がつながるしくみをつくる。

はじめに次の 3 点をご確認ください

（１） CLL 活動は、みなさまのお取り組みの中で学ばせていただくプログラムです。

- 実施主体の皆様のお取り組みに寄り添って学ばせていただくことを基本とさせていただいております。学生がすべてを運営するものではございません。また学生や大学のみで地域課題を解決できるものでもございません。あくまでも、皆様のご活動にご一緒させて頂く、というスタンスとさせていただいています。
- い致します。部分的に学生にまかせていただけるのは学びの面でもありがたいと思います。

CLL 活動 10 周年記念冊子
無料配布中

（２） 学生には単位認定はありません。活動時間証明が発行されます。

- 単位認定がありませんので、学生は基本的に「体験したい」「学びたい」「知りたい」というモチベーションで参加させていただきます。また総活動時間に付き申請に基づき学長名にて証明書を発行します。

（３） 課外活動ではありますが、あくまでも学修プログラムの１つです。

- 単なるボランティア、アルバイトとは異なり、学修者として皆様のお取り組みにご一緒させ

ていただければと思います。学生の学びにご理解を頂ますよう、お願い致します。

活動報告会

- 学修プログラムと位置づけておりますが、大学の講義を優先とさせていただいております。地域での体験を通じた学びと、専門領域の学びを融合することが重要と考えています。
- 学修プログラムとして、また時間認定として皆様に、確認のご印鑑（サイン）等をお願い致します。大変お手間ですがご協力をいただけますと幸いです。
- CLL 活動を含む教育プログラムの学びの内容を年に一度年度末に「伊勢志摩定住自立圏共生学教育プログラム学修成果発表会」を開催しています。ご案内させていただきますので、よろしければぜひ、ご参観ください。

CLL 活動実施にあたっての Q&A

Q1. CLL 活動の目的は何ですか？

A1. 伊勢志摩圏域を中心とする三重県内でこれからも継続して幸せに暮らしていくためには多くの地域課題があります。その課題の解決に取り組んでおられる主体のみなさま（自治体、NPO、企業など）のお取り組みに参加させて頂き、そこでキャンパスでは学べないことを学ぶことが目的の学修プログラムです。

Q2. 実施主体の我々にもメリットがありますか？

A2. 地域活動に学生（若者）が参画・参加していくことで、新たな考えや取組が期待できます。イベントの企画運営、機関紙の編集、市民ワークショップの企画運営など、様々な分野にてご一緒できる場面がございます。学生の指導の部分でご負担をお掛けすることがありますが、ご理解いただけますようお願いいたします。また、学生が参加することで既存のお取り組みが活性化することも期待できます。

Q3. 実施したいと思いますが、私達でも実施できますか？

A3. 原則として伊勢志摩圏域を中心とする三重県内で以下の項目に当てはまる団体とさせていただいています。本条件に当てはまらない場合等にお断りすることがございますので、予めご了承くださいませ。

① 皇學館大学地域課題学修支援室の学修プログラムに積極的にご協力・ご支援いただける団体。
② 政治的中立性に基づいた活動を行っている団体。
③ 公共団体及び非営利団体をはじめ地域課題の解決に積極的に取り組んでおられる団体。
④ 人権上の配慮に基づいた活動を行っている団体。
⑤ 本事業の目的をご理解いただき、本冊子に基づいた学生指導を行っていただける団体。

＊ この活動はあくまでも学修プログラムでありアルバイトやボランティア募集ではございません。そのようなご用命の場合には、他の部署に取り次がせていただきますのでお気軽にお声がけくださいませ。

Q4. 対象の学生は何人くらいいますか？

A4. この CLL 活動は「伊勢志摩定住自立圏共生学による教育プログラム」の一環として実施しております。この教育プログラムは全学共通の副専攻プログラムに位置しておりますので、在学しているすべての学生が対象となります。

Q5. 移動、交通費・アルバイト料などはどうでしょうか？

A5. 学生は学修プログラムの一環として参加をしておりますので、謝金（アルバイト料）等は不要です。移動については、学生には公共交通機関で移動するように指導をしています。交通費につきましては、遠方の場合などご考慮いただけますと幸いです。なお、打合せなどに大学の教室等をお使いいただけます。ご相談ください。

Q6. 活動時間及び期間はどうなっていますか？

A6. 継続的に取り組むものを推奨させていただいております。複数回～１年を通してのものが望ましいと考えています。一日の活動時間は 15 時間まで（移動時間含む）としています。活動全体

としては、年度を単位としており、担当教員とご相談の上複数年度にわたり継続いただいている活動も多くあります。

Q7. 申し込みについてはどうしたらいいですか？

A7. この資料をお目通しいただいた上で地域連携推進室（連絡先は下記）までご連絡ください。その上で、申し込みフォーマット（Excel）が本学公式サイト（https://www.kogakkan-u.ac.jp/cooperation/cll/）よりダウンロードしていただけますので、ご記入いただき、メールにてご提出ください。紙ベースでのお申し込みも受け付けております。

活動説明会

また、お申し込みの際に同サイトに「学外 CLL 活動に使用する自動車の任意保険に関する確認書」の様式を掲載しております。内容につきご確認のうえ、あわせてご提出をお願いいたします。

Q8. 募集をかけたら必ず集まるでしょうか？

A8. 別紙「CLL 活動の流れについて」でもご紹介をしておりますが、募集を開始していただいた場合、本学にて春秋に開催している「CLL 活動説明会」にご参加いただくことが可能です。その場で学生に活動の魅力をアピールいただき、学生募集を行っていただければと思います。また、講義内でのチラシ配布などもさせていただきます。ただ、学生は興味、関心、学修意欲により応募しますので、必ずしも何名とは申せません。

Q9. 学生への対応はどうしたらいいですか？

A9. 学生は「学修」として参加しますので、大学としても事前・事後学修を行いますが、活動前後や活動中に、内容、役割などだけでなく、社会人としてのマナー、地域課題の捉え方などについてもご指導をお願い致します。

近年、就職活動において企業より「コミュニケーション能力」を問われることが多くなっておりますが、CLL 活動を通して実際に異世代の方とふれあうことで養うことができればと考えております。

学生について問題等が起こった場合は担当教員または皇學館大学地域課題学修支援室にすぐにご連絡ください。また、活動・打合せなどで大学教室をお使いいただく場合もご相談ください。

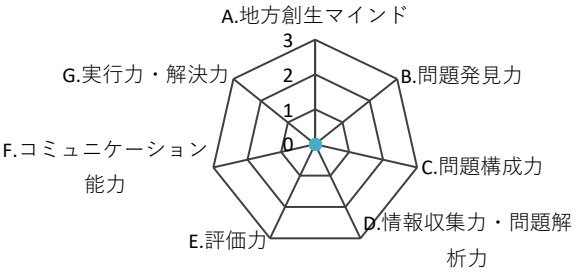
皇學館大学地域課題学修支援室
〒516-8555
三重県伊勢市神田久志本町 1704
WEB：https://www.kogakkan-u.ac.jp/cooperation/coc/
メール：coc@kogakkan-u.ac.jp
電話：0596-22-8542

文部科学省 地(知)の拠点

（令和８年４月作成）

受付日：令和　　年　　月　　日

CLL活動　申込用紙（実施主体用）

<table>
<tr><td>活動名</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">活動の主催者
（担当者及び連絡先）</td><td>主催者</td><td></td><td>担当者</td><td></td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td></td><td>E-mail</td><td></td></tr>
<tr><td>住所</td><td>〒</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>活動の頻度</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>活動場所</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>活動への参加者</td><td colspan="4">□自治体職員（　　名）　□市民（　　名）　□その他（　　名）</td></tr>
<tr><td>活動内容</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>活動で身につく力</td><td colspan="3">学生に身につくと思われる力をｸﾞﾗﾌに示してください
 

右上にある表に数値を入力するとレーダーチャートが完成します。
（1：該当しない 2：目標としている 3：大いに目指している）</td><td>〔学生に期待する役割〕

〔学生が得られる学びの内容〕</td></tr>
<tr><td>学生の参加期待人数</td><td>定員：</td><td colspan="3">名</td></tr>
<tr><td>活動中の安全管理</td><td colspan="4">参加する学生の主催者様による保険加入の有無等について記入ください
□　有（　　）・□　無</td></tr>
<tr><td>活動時の移動手段</td><td colspan="4">移動時の手段や交通費支給の有無等について記入ください</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

皇學館大学地域課題学修支援室
Tel/Fax:(0596)-22-8542

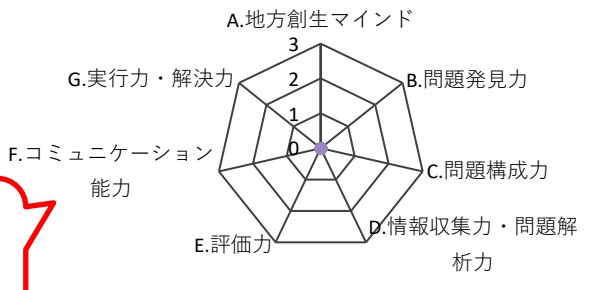
（令和8年4月版）

受付日：令和　　年　　月　　日

CLL活動　申込用紙（実施主体用）

記入例

申込用紙内の□部分について記入をお願いします。

活動名				
活動の主催者 （担当者及び連絡先）	主催者	〇〇〇〇	担当者	□□□□
	連絡先	×××ー×××ー××××	E-mail	〇〇〇@　　.jp
	住所	〒 516-8555	伊勢市神田久志本町1704番地	
活動の頻度	月1回　（毎月第3木曜日　18：30～20：00）			
活動場所	〇〇町公民館会議室			
活動への参加者	□自治体職員（　5　名）　□市民（　5　名）　□その他（　　名）			
活動内容				
活動で身につく力	学生に身につくと思われる力をｸﾞﾗﾌに示してください  右上にある表に数値を入力するとレーダーチャートが完成します。 （1：該当しない 2：目標としている 3：大いに目指している）		〔学生に期待する役割〕 〔学生が得られる学びの内容〕	
学生の参加期待人数	定員：		名	
活動中の安全管理	参加する学生の主催者様による保険加入の有無等について記入ください □　有（　　）・□　無			
活動時の移動手段	移動時の手段や交通費支給の有無等について記入ください			
その他	＊活動期間、時間帯については相談したいと思います。			

右上の入力フォーマットに1～3を入力してください。

上記以外のことで、学生に伝えたいことがあれば記入してください。

皇學館大学地域課題学修支援室
Tel/Fax:(0596)-22-8542

（令和8年4月版）

CLL 活動参加申込書（学生用）

私は、皇學館大学 CLL（Community Learning Labo）活動に参加を申し込みます。参加するにあたり以下の内容について遵守することを誓約します。

- □ 違法行為や学生の本分に反する行為等（反社会的団体への関与や大学の信用を傷つける行為を含む。）を行いません。
- □ 自他の生命・身体の安全確保に細心の注意を図ります（感染症等への対策を含む）。
- □ 活動中には、実施主体の責任者及び担当教員の指示に従い行動します。
- □ 活動中における事故・疾病・犯罪による損害、故意や重大な過失により生じた損害及び、天災・事変などの不測の事態や不可抗力により生じた損害について皇學館大学及び本プログラム関係者に責任を問うことはしません。
- □ 移動には公共交通機関を利用し、活動の必要により教員及び実施主体等の運転する車両に同乗した際には任意保険の範囲を超えて賠償の請求をしません。
- □ いかなる場合においても、20 歳未満である場合飲酒・喫煙をしません。
- □ 活動に参加が決定した後、やむを得ず活動を辞退する場合には、速やかに地域課題学修支援室に申し出ます。
- □ 活動期間中にやむを得ず欠席する場合には実施主体及び担当教員に必ず連絡をします。
- □ 大学が指定する事前、事後学修に必ず参加し、活動終了後は速やかに活動記録票などを提出します。
- □ 「学外 CLL 活動届」等活動に必要な書類や手続を期限までに必ず行います。

＜よく読んでチェックを入れてください。＞

活動中の写真・動画や報告書等の成果物について大学 WEB ページ、大学広報媒体などに掲載される場合があることを

□承諾します　　□承諾しません

令和　　年　　月　　日

活動名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学部＿＿＿＿＿＿　学科＿＿＿＿＿＿　学生番号＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞＿＿＿＿

緊急連絡先（本人以外）＿＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿（　続柄　　）

※ 連絡先などの情報を実施主体と共有することがありますが、緊急の場合及び活動の円滑化などの目的以外に使用することはありません。

ＣＬＬ活動記録票

令和 ＿＿＿年度より参加

学科（　　）学生番号（　　）氏名（　　）

活動名					
（1）事前学修	令和　年　月　日（　：　～　：　）①（　　）時間				
今回の活動で養うことが期待できると思う資質・能力（CLL 活動のしおり参照） □A.地方創生マインドの養成　□B.問題発見力　□C.問題構成力 □D.情報収集力・問題解析力　□E.評価力 □F.コミュニケーション能力　□G.実行力・解決力					担当教員印
活動に対する個人目標（参加の動機や活動の終了時に自分がどうなっていたいか等）					
（2）活動の記録		時間数	移動時間	1日計	内容
（例）6月　10日　9：30　～13：30		4	0.5	4.5	現地打合せ
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
月　日　：　～　：					
②小計					時間
（3）担当教員（実施主体）の確認（サイン） 令和　年　月　日　担当教員（実施主体担当者）　氏名					
（4）事後学修	令和　年　月　日（　：　～　：　）③（　）時間				地域課題学修支援室
（5）総合計活動時間（①＋②＋③）				時間	

記録欄がいっぱいになった場合には別紙を利用してください。

振り返り（自己評価）シート

今回取り組んだ活動を振り返って、各項目に 1～5 の数字を記入しなさい。

5：非常によく出来た　4：よく出来た　3：どちらでもない

2：あまりできなかった　1：全くできなかった　0：該当しない

A.地方創生マインド		
	今回取り組んだ地域の課題を理解できたか。	
	その課題について他の人に説明できるか。	
	その課題解決に今回の活動がどう役立つのかを説明できるか。	
B.問題発見力		
	活動を進めていく中で問題をみつけることができたか。	
C.問題構成力		
	問題に対して 1 つではなく複数の解決法を考えることができたか。	
D.情報収集力・問題解析力		
	問題を解決するために適切な手段で情報を収集することができたか。	
	問題を論理的に整理し、解決に向かう方法を考えることができたか。	
E.評価力		
	複数の問題解決手法を比較したうえでよりよい解決策を考えることができたか。	
F.コミュニケーション能力		
	メンバーや実施先と積極的に関わりを持とうとすることができたか。	
	場や相手に応じた挨拶や言葉遣いなどができたか。	
	他のメンバーや実施者の話をしっかりと聴けたか。	
	他のメンバーや実施者に配慮しながら、自分の考えを伝えることができたか。	
G.実行力・解決力		
	他のメンバーと協力して取り組むことができたか。	
	この活動に積極的に貢献することができたか。	
その他		
	提出物、集合時間など期限を守ることができたか。	
	社会の一員として自覚と責任をもって行動することができたか。	

感想と今後の課題（表面の「活動に対する個人目標」を確認し、達成できたこと、できなかったこと等）

※記載された内容は報告書及び本学 HP 等に掲載することがあります。

CLL 活動記録票　別紙　／

学部学科（　　）学生番号（　　）氏名（　　）

活動名	

（2）活動の記録

実活動時間	時間	移動	1日計	内容
（例）6月　10日　9：30　～13：30	4	0.5	4.5	現地打合せ
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
月　日　：　～　：				
②小計				時間

皇學館大学　地域課題学修支援室

「地域貢献活動（CLL 活動）時間証明書」発行申請書

申請日：令和　　年　　月　　日

学　生　番　号	
（フリガナ）	
氏　　名	
生　年　月　日	年　　月　　日
所　　属	学部　　学科
発　　行　　数	（　　）通
証明書使用の目的	
特　記　事　項	

※特定の活動のみの証明書発行を希望の場合は、特記事項欄に発行を希望する活動名を記入のこと。

財務部	地域課題学修支援室

---------- キリトリ線 ----------

地域貢献活動（CLL 活動）時間証明書発行受領引換

地域課題学修支援室

学科　　年

学生番号

氏名

●証明書の受理にはこの「地域貢献活動（CLL 活動）時間証明書受領引換」を持参して下さい。

---------- キリトリ線 ----------

領収報告書

氏名　　様

学生番号

金額　￥200×（　　）通　　計　　円

但　証明書発行手数料として
上記金額を徴収しましたことを報告します。

領収証

氏名　　様

学生番号

金額　￥200×（　　）通　　計　　円

但　証明書発行手数料として
上記金額を領収しました。

皇學館大学

皇大事学証第＊＊＊号

地域貢献活動（CLL 活動）時間証明書

所属　　○○学部××学科
学生番号　D＊＊＊＊＊＊＊
氏名　　○○　○○
生年月日　　平成△△年　×月××日

下記の地域貢献活動（CLL 活動）に取り組んだことを証明する。

記

	活動名	活動期間	活動時間（時間）	活動内容
1	伊勢市上水道新規啓発冊子作成	平成○○年×月××日～ 平成○○年△△月△△日	96	・冊子の企画、立案 ・デザインや校正
2	伊勢志摩観光ポスター作成事業	令和○○年×月××日～ 令和○○年△△月△△日	108	・ポスター作成会議での企画・立案 ・写真撮影、レイアウトへの参画

総活動時間：＊＊＊＊時間

令和○○年　×月××日

皇學館大学
学　長

CLL（Community Learning Labo）活動は伊勢志摩定住自立圏を中心とする三重県内の地域課題について体験を通して学ぶ学修プログラムです。

＜CLL 活動の 3 つの目的＞

1．地域の課題に学生・大学が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。

2．学生が地域活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。

3．大学と地域が協働して「伊勢志摩定住自立圏」を中心としながら、新たに人や地域がつながる仕組みを作る。

文部科学省 地(知)の拠点

学外CLL活動に使用する自動車の任意保険に関する確認書

皇學館大学教育開発センターあて

令和　年　月　日

CLL活動名	
実施主体様名称	
担当者様氏名	
学外活動場所	

活動内容（複数選択可）　☐ 会議・打合せ　☐ 取材・調査　☐ 行事参加　☐ その他（　　）

確認事項　☐ 活動に利用し、学生が同乗させていただく自動車に関して任意保険に加入しています。

☐ 当該任意保険には搭乗者の傷害等に関する補償が含まれています。